



【報道資料】



平成 26 年 5 月 20 日

フルスペック 8K スーパーハイビジョン用 インターフェースに対応した映像機器を開発

- NHK は、2020 年の本放送に向けて 8K スーパーハイビジョンの研究開発を加速しています。今回、その最上位の映像フォーマットであるフルスペック 8K スーパーハイビジョン（以下、フルスペック SHV）^{*1)}用として、今年 3 月に標準規格^{*2)}が策定されたインターフェースを備えた映像機器を開発しました。
- フルスペック SHV は、8K の解像度に加えて、1 秒あたりのフレーム数を 120 枚（従来は 60 枚）とすることで、動きの速い被写体をより鮮明で滑らかな映像として表現できます。明るさの表現に関わる階調は 12 ビット（従来は 10 ビット）、さらに色域を拡大することで実物により近い色表現が可能となります。
- 一方、フルスペック SHV は、信号レートが 144Gbps（ハイビジョンの約 100 倍）にも及ぶため、機器間の接続には 100 本近いケーブルが必要でした。新たなフルスペック SHV 用光インターフェースでは、1 本のケーブルで伝送できるとともに、コネクタのサイズや形状も従来とほぼ同等で、接続や取り回しが極めて容易です。
- 5 月 29 日（木）～6 月 1 日（日）に開催する「技研公開 2014」において、新たなインターフェースを備えた映像機器として、フルスペック SHV カメラと、毎秒 120 フレームで表示可能な液晶ディスプレイを展示します。

*1) フルスペック SHV 映像フォーマット（別紙表 1 参照）：ITU-R 勧告 BT.2020、SMPTE ST2036-1、ARIB 標準規格 STD-B56

*2) ARIB 標準規格 STD-B58 1.0 版（2014） 超高精細度テレビジョン信号スタジオ機器間インターフェース規格

(別紙)

表1 フルスペック SHV の映像仕様

画素数	水平 7,680×垂直 4,320
フレーム周波数	120 Hz
色域	広色域
階調	12 ビット



写真1 フルスペック SHV カメラ



写真2 毎秒 120 フレーム表示
SHV ディスプレー



写真3 フルスペック SHV 用光インターフェース (コネクタ部)